

大館桂桜高等学校

# 図書館だより

No.1

2018. 4. 9  
担当 学校司書



## 新年度スタート!

### 展示コーナー模様替え!

### 新着図書も届いています!

2018年度がスタートしました。

図書館では、新たな展示コーナーを設置し新しい本も届いています。また、古本市文庫（昨年の桂桜祭での古本市の売り上げで購入した本）も揃いました。

読書に、調べ学習に、進路実現に向けての準備に、図書館をたくさん利用してください。

## 展示コーナー紹介



### ①本屋大賞ノミネート作品



本屋大賞 2018 にノミネートされた 10 作品を集めました。大賞の発表は 4 月 10 日。どの作品が受賞するか、予想してみるのも楽しいでしょう。『騙し絵の牙』（塩田武士）、『AX』（伊坂幸太郎）『盤上の向日葵』（柚月裕子）、『キラキラ共和国』（小川糸）、『星の子』（今村夏子）、『かがみの孤城』（辻村深月）、『百貨の魔法』（村山早紀）、『屍人荘の殺人』（今村昌弘）、『崩れる脳を抱きしめて』（知念実希人）、『たゆたえども沈まず』（原田マハ）

『騙し絵の牙』

塩田武士 著

KADOKAWA

俳優・大泉洋を“主人公”にした新感覚小説。

### ②図書館報で紹介した本



3月に発行した「図書館報」で紹介した本を特集しています。

「先生たちのビブリオバトル」で紹介された本3冊、中でも児玉先生が紹介したチャンプ本の『君たちはどう生きるか』（吉野源三郎）は、新装版、漫画版、岩波文庫版がそろっているので読み比べてみて下さい。

本屋大賞にもノミネートされている図書委員のおすすめ本『盤上の向日葵』（柚月裕子）やよく読まれている本で特集した住野よるの作品も並べています。

### ③秋田県内12校 学校司書のおすすめ本



秋田県の高校には、現在12人の学校司書がいます。大館桂桜高校もその1つです。他の11校は大館鳳鳴、大館国際情報学院、能代松陽、秋田南、秋田中央、秋田北、秋田明德館、由利工業、六郷、横手清陵学院、湯沢翔北です。12校の学校司書による合同企画で、おすすめの本を手作りPOPとともに紹介しています。プレートでは、「新入生へおすすめ～」となっていますが、新学期を迎えたすべての高校生におすすめする本ですので、ぜひこの機会に手に取ってみてください。

## 古本市文庫より

昨年の桂桜祭で行った古本市の売り上げ26,870円で33冊の本を購入することができました。(購入図書の一覧は、図書館前と渡り廊下に掲示します。)購入にあたっては、生徒の皆さんに希望を取り、すでにあるシリーズもの(ライトノベルなど)の続きを購入するようにしましたが、なかなか希望の本が市内の書店で一気に購入することができず、揃えるのに時間がかかってしまい、お知らせするのが遅くなってしまい申し訳ありませんでした。古本市文庫の中から、何冊か紹介します。

『青くて痛くて脆い』住野よる著

『君の臍臓がたべたい』の著者の最新作。

『魔力の胎動』東野圭吾 著

映画化で話題の衝撃のミステリ『ラプラスの魔女』の前日譚。

『手紙屋 僕の就職活動を変えた十通の手紙』喜多川泰 著

働くことの意味を見つめなおす本。

『恋する寄生虫』三秋縋 著

独特の世界観で描く、一風変わった恋愛小説。

『その白さえ、嘘だとしても』河野裕 著

『いなくなれ、群青』に続く“階段島”シリーズ。

## その他の新着図書

『オリジン 上・下』ダン・ブラウン 著

人工知能の助けを借りて、人類最大の謎に迫る!

『MM』市川拓司 著

『いま、会いにゆきます』などの恋愛小説の名手による、新たな純愛小説。